

とくしまの教育

Education of Tokushima

2009. No.417

3月

平成21年3月 発行 徳島県教育委員会

Contents

- 本県教育への信頼回復に向けて—— 1
- 教職員の不祥事根絶に向けて—— 2
- 平成20年度文部科学大臣優秀教員表彰について—— 3
- 平成20年度徳島県教育委員会関係職員表彰について—— 3
- 平成20年度徳島県藍青賞受賞者一覧—— 4
- 平成20年度「学校版環境ISO」認定校一覧—— 5
- 平成21年4月「徳島県立徳島科学技術高校」開校—— 6
- 人権教育の取組の点検・評価を—— 7
- 文化の森の博物館・近代美術館・図書館を授業にご活用ください—— 7
- 新教育委員の紹介—— 8
- 総合大学校人材登録システムにご登録ください。—— 8
- 県内初の登録有形民俗文化財「阿波木偶の門付け用具」—— 8
- 県内8番目の国史跡「波野丸山古墳」—— 8

本県教育への信頼回復に向けて



教育委員長からのメッセージ

平成20年度が終わろうとしています。

60年ぶりの教育基本法改正にはじまる教育改革は、本年度、新学習指導要領の公表にまで進んで、教育は今、大きな転換期を迎えています。本県でも、「徳島県教育振興計画」を策定して、今後の教育の目指すべき方向を明らかにしたところです。

しかし、こうした取組が進められる一方で、教職員の不祥事に歯止めがかからない混迷の1年でもありました。多くの先輩の先生方や関係の方々が営々として築いてこられた教育への信頼を、根底から損なうことになってしまったことは、教育行政に携わる者の一人として痛恨の極みです。

不祥事の一つ一つは、自らを律することができなかった個人の問題ではありますが、そこから学ぶべきことは多くあります。何よりも、教育界では通用してきた考え方ややり方も一般社会では受け入れられないことがある現実を厳しく受け止め、より開かれた学校や、教職員相互の連携による風通しのよい職場を作る努力が求められています。だからこそ、個人の資質の問題などと片付けることなく、教職員全体で再発防止に取り組む必要があるのです。教育委員会も当然、その先頭に立ち、原因の究明や防止対策を進める覚悟です。

とはいえ、やはり1番大切なものは、先生方一人ひとりの子どもたちに向き合う姿勢であり、教育にかける情熱です。教職を志した時の熱い心を、初めて教壇に立った時の心の震えるような緊張感を思い出してほしいのです。子どもたちの前に立つ者としての責任と誇りを持ち続けてほしいのです。

本県教育への信頼回復に向けて、教職員の皆さんと共に、新年度の一步を踏み出したいと願っています。



教育長からのメッセージ

児童生徒・保護者・教職員相互の信頼関係の上に成り立つ教育が、今、大きく揺らいでいます。言うまでもなく、今年度相次いだ教職員の重大な不祥事が原因です。昨年4月以降、飲酒運転による懲戒処分を契機に不祥事の再発防止に向けて様々な取組を行ってきましたが、残念ながら不祥事が跡を絶ちません。教職員は、本来、強い使命感と高い倫理観を持っていただかなければならないはずなのに、なぜ、重大で悪質な不祥事が跡を絶たないのか、その原因は何なのか、と私自身、自問

自答せざるを得ない日が続いています。

教員という職業はその職務の性格上、自由度が大きい職業ではありますが、その自由は強い使命感・責任感によって支えられなければ、児童生徒・保護者をはじめとする関係者の信頼を得ることはできません。私たち教職員の中に、この自由のみを享受し、肝心の使命感・責任感を自覚できていない者が、ごく一部にせよ、いるとするならば、教育の信頼回復は望めなくなります。しかし、私としては、教職員一人ひとりがこの度の不祥事を「他山の石」として重く受け止め、教員にとってのいわゆる「身分に伴う義務」とは何かを改めてしっかりと考え、その義務を全うすることができるならば、必ずや不祥事の根絶、ひいては信頼回復につながると考えています。

失われた信頼を回復するためには、すべての教職員の力を結集することが必要です。今後とも、一丸となつての取組をよろしくお願いいたします。

教職員の不祥事根絶に向けて

本年度に入り、教職員による不祥事が相次いだことから、これまでの教職員の不祥事に係る問題点や課題を検証し、再発防止策を検討することを目的として設置した「教職員不祥事再発防止対策会議（有識者 8 名で構成）」から、平成20年12月 9 日に「教職員の不祥事再発防止策」の報告がありました。

教職員の不祥事再発防止策（骨子）

1 教職員の「コンプライアンス意識」の醸成

- ◆職場単位での反復、継続した研修等の取組の徹底
- ◆「不祥事防止マニュアル」の有効活用
- ◆総合教育センターにおけるコンプライアンス研修等の充実
- ◆教職員一人ひとりの意識改革

2 風通しの良い職場環境づくり

- ◆教職員間の情報交換がスムーズにできる体制の確立
・ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）の徹底
- ◆教職員のモチベーション向上のための取組

- ◆職場単位でのきめ細かな未然防止のための取組

- ・飲酒時の帰宅方法の届出システムなど

- ◆教職員の勤務環境改善等のための取組

3 制度面の見直しと組織体制の整備

- ◆公益通報制度の見直し
- ◆教育委員会独自の懲戒処分基準及び服務規則等の改正並びに周知徹底
- ◆コンプライアンス意識を浸透徹底させるための専門組織（担当）の設置

各職場においても、取組可能な不祥事防止策について順次取り組んでください。

不祥事を起こすと、以下のような影響があります。

教育をあずかる者として、責任ある行動が常に求められていることを深く認識し、不祥事を自らの問題と受け止め、その行動を律してください。

社会的影響

○関係者に対する影響

不祥事を起こし、新聞等に氏名が公表されると児童生徒、保護者及び地域の方々に不安や動揺を与え、学校に対する信頼を大きく失墜させることになります。また、当該教職員の家族や親戚、友人等にも辛い思いをさせることになります。

（懲戒免職及び停職の場合は、原則として氏名が公表されます。）

○教職員全体に対する影響

教職員による不祥事の発生は、当該教職員が非難されるだけでなく、県及び教職員全体に対する信頼を著しく損ね、教育行政及び学校における教育の円滑な運営に支障をきたします。

法律上の責任

○身分上の責任

公務員の一定の非違行為に対しては、その道義的責任を追及し、公務の規律と秩序を維持することを目的として、任命権者（教育委員会）による懲戒処分が行われます。なお、懲戒処分には、**免職**、**停職**、**減給**、**戒告**の4種類があります。

- ①**免職**……公務員たる地位を失わせるもの。

※懲戒免職にされた者に対し、退職手当は支給されません。

- ②**停職**……1 日以上 1 年以下の期間、公務員としての身分を保持したまま、職務に従事させないこととするもの。

※停職期間中は、いかなる給与も支給されません。

- ③**減給**……1 日以上 1 年以下の期間、給与の月額
の 5 分の 1 以下に相当する額を給与から減
するもの。

- ④**戒告**……規律違反の責任を確認し、その将来を
戒めるもの。

○刑事責任

刑法その他の法律で禁止された刑事上の犯罪行為を犯した場合には、警察・司法当局の訴追手続きを経て、刑罰に処せられます。

※禁固以上の刑が確定したときは、地方公務員・教員としての欠格事由に該当し失職となります。

○民事責任

故意又は過失により他人に損害を与えた場合には、その相手方から賠償を請求されることがあります。

給与等への影響

懲戒免職になると、教職員として受け取るはずだった給与と退職金を失うこととなります。

また、懲戒処分（免職除く。）を受けると、昇給の号俸数や勤労手当の成績率が標準より低減されます。

さらに、懲戒免職になると、年金の支給開始から 5 年間、職域年金相当部分の 100 分の 50 が支給されません。

教員免許の失効

懲戒免職になると教員免許状は効力を失い、教員免許状を教育委員会に返納しなければなりません。

平成20年度文部科学大臣優秀教員表彰について

文部科学省は、平成18年度より学校教育に顕著な実績を挙げている教育職員を表彰しております。平成20年度は、全国で766名、本県からは8名の方々が表彰され2月9日に表彰式が行われました。被表彰者のお名前とご功績の概要は、次のとおりです。

○岡島千代子指導教諭（沖洲小学校）

家庭科の教科指導では特に、県下全体のリーダー的存在で、小学校のみならず、中学校・高等学校からも指導者として招聘され、教育のレベル向上に貢献した。

○向川 陽子指導教諭（郡里小学校）

地域に密着した活動を展開し、読み聞かせなどを通して地域の人との交流を図るなど、子どもたちにとって有用な活動を実施し、大きな成果をあげた。

○岸本万希子養護教諭（千代小学校）

児童生徒の疾病の発見・予防・処置・救急看護等を適切に行うとともに、アイデア豊富で、児童の健康保持、増進を考えた新しい試みを取り入れた実践で、成果をあげた。

○丸與 直子指導教諭（城西中学校）

音楽科の指導において、生徒のやる気を引き出し、一人ひとりに応じた指導を行い、能力を引き出す授業を展開し、コンクール等でも上位に入賞するなど成果をあげた。

○藤本留美子教諭（三加茂中学校）

女子生徒の生徒指導の中心として、きめ細かな指導を徹底し、生徒に寄り添い、保護者とも連携し、支援をするなどしてすばらしい集団づくりに貢献した。

○長谷 信昭指導教諭（徳島県立城東高等学校）

職員の意思統一を図り、学校の教育的使命や学校運営上の課題を的確に把握し、生徒指導、進路指導、人権教育等教育活動全般にわたり様々な教育活動を推進した。

○平田寿美礼教諭（徳島県立板野高等学校）

学校の課題を的確に把握し、率先してその解決に取り組む、リーダーとして学校の組織の中心的存在で、組織の活性化に大きく貢献している。

○高橋 広教諭（鳴門市立鳴門工業高等学校）

長年にわたり、鳴門工業高校野球部を指導し全国高校野球大会や全国高校野球選手権大会に幾度となく出場を果たし、輝かしい実績をあげた。



平成20年度 文部科学大臣優秀教員表彰伝達式（県庁にて）

平成20年度徳島県教育委員会関係職員表彰について

表彰された皆様方に心からお祝い申し上げます。

◆グループ表彰

○第28回近畿高等学校総合文化祭徳島県実行委員会事務局職員一同

職員一同一致協力し、第28回近畿高等学校総合文化祭の準備運営に献身し、同文化祭を成功に導いた功績



平成20年度徳島県藍青賞受賞者一覧

徳島県藍青賞は、新しい時代をひらくたくましく心豊かな徳島の子どもの育成を期して、ボランティア活動等、自然体験・勤労体験学習等、児童会・生徒会活動等、困難克服、人命救助等、運動競技、研究、制作、表現活動等、創意に満ちた教育活動等、指導者等において優れた実績をあげた学校・園、グループ・団体、個人に贈るものです。対象期間は、前期が1月1日から8月31日まで、後期が9月1日から12月31日までで、前期は11月、後期は2月に表彰しています。



平成20年度前期表彰式の様子

○地域社会におけるボランティア等

(学校・園全体)
徳島東工業高等学校
(グループ・団体)
佐古小学校合唱部

○運動競技

(グループ・団体)
徳島中学校バドミントン部
上八万中学校ソフトボール部
川内中学校女子バレーボール部
小松島中学校男子新体操部
那賀川中学校女子剣道部
山川中学校女子ソフトテニス部
岩倉中学校女子ソフトボール部
池田中学校弓道部
生光学園中学校新体操部
城北高等学校射撃部
徳島市立高等学校女子弓道部
勝浦高等学校ライフル射撃部
脇町高等学校女子ソフトテニス部
徳島県国体ソフトボール少年女子選抜チーム
徳島県国体弓道少年男子選抜チーム
徳島県国体新体操少年女子選抜チーム

(個人)

川内南小学校	岡田光
林崎小学校	岡村理紗
川田中小学校	藤岡明日香
徳島中学校	國安涼可
徳島中学校	山本桜子
城西中学校	安村泰輝
富田中学校	森岡真菜
津田中学校	堀田杏里
鳴門市第二中学校	立石晴香
鳴門中学校	清水美来
北灘中学校	林千春
大麻中学校	榎原功輝
坂野中学校	高瀬晴菜
阿南中学校	岡芳生
阿南中学校	柏木美穂
山川中学校	大久保有絵
山川中学校	河村真奈実
美郷中学校	林亜佑美
徳島県立川島中学校	高橋みづ江
市場中学校	森下麻衣

江原中学校
美馬中学校
海南中学校
北島中学校
藍住中学校
藍住中学校
半田中学校
貞光中学校
三好中学校
徳島文理中学校
徳島文理中学校
徳島文理中学校
城東高等学校
城東高等学校
城北高等学校
城北高等学校
城ノ内高等学校
徳島北高等学校
徳島市立高等学校
城西高等学校
徳島工業高等学校
徳島商業高等学校
小松島高等学校
小松島高等学校
小松島高等学校
富岡西高等学校
阿南工業高等学校
那賀高等学校
鳴門高等学校
鳴門第一高等学校
板野高等学校
穴吹高等学校
穴吹高等学校
池田高等学校
池田高等学校
池田高等学校
池田高等学校
池田高等学校
徳島文理高等学校

西森健太
武歴真紀
土壁真き
藤倉み翔
佐野翔吾
小林力斗
岡田唯一
鵜飼亮一
木藤伸明
朝田真央
大西緑香
原有愛梨
水口美沙
若田麻由
出井誠子
藤谷愛子
谷島良輔
福開早樹
出川健太
東川克磨
藤岡沙織
遠丹良太
伊原公世
篠谷香澄
岡本知弘
甘利慎吾
栗本慎美
張間麻太郎
藤岡健太郎
早雲昌彦
射場宏能
山下裕策
高井紳之助
谷祥平
森浦優人
池田寛太
藤川祐太
大坂阿玖里

○研究、制作及び表現活動等

(グループ・団体)
富田小学校5年生
国府小学校マーチングバンド部
桑島小学校金管バンド部

林小学校自転車チーム
 佐野小学校 5・6年生
 徳島中学校オーケストラ部
 上八万中学校音楽部
 川内中学校吹奏楽部
 国府中学校吹奏楽部
 鳴門市第一中学校吹奏楽部
 阿南中学校箏曲部
 徳島商業高等学校美術部
 小松島西高等学校 TOKUSHIMA雪花菜工房
 富岡西高等学校文芸部「富西81955(俳句ゴーゴー)」

(個人)

大松小学校	林	正	基
今津小学校	坂	田	浩
牛島小学校	北	川	大
牛島小学校	北	川	拓
久勝小学校	新	居	里
林小学校	酒	巻	洸
林小学校	新	居	翔
鷺敷小学校	村	上	友
貞光小学校	辻		真
西庄小学校	岡	本	昌
国府中学校	広	沢	彩
城ノ内中学校	小	林	優
城ノ内中学校	嶋		悠
鳴門市第一中学校	楠	本	裕
鳴門市第二中学校	磯	崎	り
山川中学校	三	木	優

土成中学校
 東祖谷中学校
 三好中学校
 鳴門教育大学附属中学校
 鳴門教育大学附属中学校
 鳴門教育大学附属中学校
 城ノ内高等学校
 徳島北高等学校
 徳島商業高等学校
 徳島商業高等学校
 徳島商業高等学校
 徳島商業高等学校
 徳島商業高等学校
 徳島商業高等学校
 鳴門高等学校
 鳴門高等学校
 名西高等学校
 聾学校

瀬尾友美
 谷口真美
 長江亜弥子
 小野瀬良佑
 車谷広大
 長田悠希
 喜來詩織
 麻植久視子
 安藤綾沙
 石川翔子
 乗島栄子
 坂田優里菜
 坂東花栄
 丸西真菜美
 貴志春佳
 伊藤あかね
 西岡千晶
 今田ひとみ
 辻崇志

○創意に満ちた教育活動

(学校・園全体)
 津田中学校

○指導者等

勝浦高等学校	岡	部	昌	彦
脇町高等学校	岩	脇	真	二
日本ボーイスカウト徳島連盟	小	山	義	雄

平成20年度「学校版環境ISO」認定校一覧

「学校版環境ISO」の認証取得を通して明日の「環境首都とくしま」を担う人材を育成しています。「学校版環境ISO」とは、ISO14001などの環境規格を参考に、子ども達と教職員が自ら目標を立て、成果をチェックする方法で、学校全体でごみの減量やリサイクル、省エネルギーなどに継続的に取り組む活動を推進するものです。

平成20年度は新たな認定校46校に加え、平成16年度(初年度)認定校8校が継続認定校となり、「学校版環境ISO」の認証を取得した学校は、延べ140校となりました。

平成20年度「学校版環境ISO」認定校(46校)

内町小学校	川内北小学校	川内南小学校	北井上小学校	林崎小学校	坂野小学校
椿泊小学校	学島小学校	土成小学校	久勝小学校	江原北小学校	岩倉小学校
三島小学校	王地小学校	芝生小学校	生比奈小学校	高川原小学校	喜来小学校
高志小学校	城東中学校	椿町中学校	三野中学校	石井中学校	北島中学校
県立城ノ内中学校	県立川島中学校	城東高等学校	城北高等学校		
城ノ内高等学校	城西高等学校	富岡西高等学校	阿南工業高等学校		
那賀高等学校	鳴門高等学校	板野高等学校	鴨島商業高等学校		
川島高等学校	阿波高等学校	阿波農業高等学校	穴吹高等学校		
美馬商業高等学校	池田高等学校(全)	池田高等学校(定)	盲学校		
国府養護学校	国府養護学校池田分校				

〈継続認定校8校〉

千松小学校	小松島小学校	政友小学校	石井小学校	伊島中学校
城西高等学校神山分校	徳島工業高等学校	三好高等学校		



平成20年度徳島県「学校版環境ISO」認証式

世界をめざす技術者へ!

平成21年4月「徳島県立徳島科学技術高校」開校

徳島科学技術高校は、徳島工業高校、徳島東工業高校及び水産高校の3高校を発展的に統合した総合型専門高校です。「科学技術の高度化・複合化、社会の変化や産業界の要望に対応した専門教育を展開する。」という教育方針のもとに、技術革新や社会の要請に対応しうる、実践力を身につけた技術者を育成します。

全日制には、大学等への進学を通して高度技術者の育成をめざす総合科学系、産業界で活躍できる実践的な技術者の育成をめざす総合技術系の2系列が設けられます。

総合科学系には、「情報科学コース、環境科学コース、海洋科学コース」の3コース、総合技術系には、「機械コース、生産システムコース、電気コース、情報通信コース、環境土木コース、建築コース、総合デザインコース、海洋総合コース」の8コースが開設されます。

また、定時制工業科には、機械コース、電気コース、建築コースの3コースが開設されます。

1 校章



- ・「科学」と「技術」の融合をイメージして明日に向かって躍動する姿を表現
- ・校訓である「礼儀」、「責任」、「勤労」、「技術」の調和のとれた教育を推進するイメージの校章

①



②



③



④



⑤



- ① 吉野川や太平洋の水の流れ、自然の英知
- ② スダチの五弁の白……………「礼儀」
- ③ 吉野川や太平洋の水をイメージする青(藍色)……………「責任」
- ④ Scienceの頭文字Sの中心から広がる躍動感……………「勤労」
- ⑤ Technologyの頭文字Tの構成……………「技術」

2 校歌

作詞 大高 翔 作曲 松岡 貴史

- | | |
|-------------|--------------|
| 一 山笑い 風光る | 二 滴りに 風薫る |
| 明日を祝す 眉山の桜 | 力漲る 眉山の緑 |
| 今 はじまりの季節 | 今 躍動の季節 |
| 静かな誇り 信じて | 確かな英気 鼓舞して |
| 歩き出してゆく | 踏み出してゆく |
| 三 新涼の 天高く | 四 風花の 空広く |
| 光を抱いて 澄む吉野川 | 山の眠りの 深まりさなか |
| 今 開拓の季節 | 今 熟慮の季節 |
| 船首を高く 未来へ | 内なる光 見だし |
| 漕ぎだしてゆく | 道拓きゆく |

3 建物の構成

中央棟、東棟、南棟、北棟、西棟(平成22年2月完成予定)
体育館、鉄筋コンクリート造3～5階建



校舎



実習室



教室



部室・駐輪場



4 小型実習船「阿州丸」



- ① 船質 強化プラスチック
- ② 全長 18.73m
- ③ 幅 4.28m
- ④ 総トン数 19トン
- ⑤ 定員 43名

概要

本船は、徳島科学技術高校の小型実習船として、徳島県沿岸海域における (1)航海・機関実習 (2)漁業実習 (3)水産生物実習 (4)海洋観測実習 (5)潜水・海洋スポーツ実習等を目的とする第1種小型漁船です。



操舵室(前部)



操舵室(後部)



機関室

人権教育の取組の点検・評価を



今年度の人権教育主事研修会で、人権教育の改善充実に向けて、研究協議・情報交換を行い、

- ・児童生徒の生活にみられる問題
- ・教職員の意識や推進体制
- ・保護者や地域との連携

などについて、現状や課題を明らかにした上で、取り組むべき方向の共通理解を図ってきました。その中で、課題意識をもち、全校体制で、しっかりと児童生徒と向き合い、取組を深めることで成果が上がっていることが確認できました。

年度末を控え、今年度の各学校の人権教育の取組について点検・評価を行い、次年度における人権教育の充実に向けて取り組んでいくことが必要です。

文部科学省は平成20年3月、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」を公表しました。その「指導等の在り方編」において、学校としての取組の点検・評価については、①教職員による点検・評価、②児童生徒による評価、③保護者等による評価を挙げています。そして、学校全体の組織的な取組として、人権教育の年間計画に沿って点検・評価を行い、次年度に向けての年間計画の見直しや、指導の改善につなげていくことの必要性を述べています。

また、「実践編」においては、年間計画充実のために、児童生徒の発達段階を踏まえ育てたい資質・能力を見据えた系統的な計画の作成と、各教科等における人権に関する直接的な学習内容や、「確かな学力」「基本的な生活習慣」「自尊感情」「自己表現力」「コミュニケーション能力」といった人権教育の目標にかかわる内容の洗い出しと計画への位置付けなどが、留意点として挙げられております。

各学校における年間計画の見直しの際には、[第三次とりまとめ]を参考にするとともに、人権教育指導者用手引書「あわ 人権学習ハンドブック」の活用を十分に図りながら、指導内容・指導方法等の改善に努めてください。新年度に向け、教育基本法の理念はもとより、新しい学習指導要領や「徳島県人権教育推進方針」に基づいた創意ある計画を作成し、確かな人権教育の推進をお願いします。

文化の森の博物館・近代美術館・図書館を授業にご活用ください

文化の森の県立博物館、県立近代美術館、県立図書館では、各館の持つ資源（もの・情報・人など）を学校教育の場で積極的に有効活用していただきたいと思います。

代表的な活用例として次のようなものがありますが、何でもお気軽に各館にご相談ください。各分野の専門的な知識を持った学芸員や司書がいつでも先生方のご相談に応じます。

活用例

●博物館

- ・遠足で利用する
- ・博物館で授業を行う
- ・学芸員による「出前授業」
- ・資料の貸出し
- ・各種研修会への講師派遣

など



博物館「出前授業」の様子

●近代美術館

- ・遠足で利用する
- ・展覧会見学の講師や授業
- ・学芸員による「出前授業」
- ・授業で使う「鑑賞シート」の送付
- ・各種研修会への講師派遣

など



近代美術館・学芸員による展覧会の案内

●図書館

県立図書館では、県立学校図書館への協力貸出を開始しました。

本年2月より学校司書のいる県立学校図書館を対象として試行し、本年9月（予定）からは県内全ての高等学校図書館及び特別支援学校図書館への資料の貸出を目指しています。

●詳しくは

県立博物館 普及課 TEL 088-668-3636

ホームページ ➡ 「学校関連メニュー」

<http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/fukyu/gakko.htm>

県立近代美術館 TEL 088-668-1088

ホームページ ➡ 「学校のページ」

<http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/education/>

県立図書館 企画課 協力担当 TEL 088-668-3500

新教育委員の紹介



西池 氏裕 氏

柿内慎市委員の任期満了に伴い、新教育委員に西池氏裕氏が平成20年10月26日付けで就任しました。

【略 歴】

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。

川崎製鉄株式会社に入社、同社技術総括部長、川崎テクノリサーチ株式会社非常勤取締役、株式会社エコ・トゥエンティワン代表取締役を経て、平成13年に退社。現在、財団法人徳島経済研究所技術顧問、徳島県経済成長戦略アドバイザー。

総合大学校人材登録システムにご登録ください。

「みなさんなしでは、変化は実現しない。社会に奉仕するという新しい意欲がなくては、自分を捧げるといふ新しいスピリットがなくては、変化は実現しない。」(バラク・オバマ)

業務や趣味で培った知識や技術を「伝えたい!」と思ったことはありませんか?

そんなときは人材登録システムにご登録ください。

人材登録システムは、自治体職員やNPO法人、民間企業の職員等が長年培ってきた知識や技術を有効活用するため、広く人材を登録するシステムです。登録した人材を講師等として県内の自治体や大学、民間企業等に派遣し、地域貢献や県民の学習ニーズに対応しています。

現在、登録者は94名、派遣実績は19回です。派遣先には老人クラブや一橋大学大学院、徳島大学、三好市などがあります。

みなさんも自治体や民間企業、その他団体に出かけて、地域貢献・相互実現の一步を踏み出してみませんか?

みなさんの登録をお待ちしています。

- 県立総合大学校「まなびーあ徳島」本部事務局
TEL : 088-612-8801
<http://manabia.tokushima-ec.ed.jp/>



まなびーあ徳島

県内初の登録有形民俗文化財 「阿波木偶の門付け用具」

文化審議会から「阿波木偶の門付け用具」が1月16日に国の登録有形民俗文化財とする答申が出された。有形民俗文化財の登録は県内初であり、全国でもまだ12件しかない。

門付けとは、「三番叟まわし」や「えびすまわし」等、民家や商店などの門口に立つて行う芸能のことである。千歳・翁・エビスなどの木偶やその衣装、門付け先で配付した御札の製作用具など門付けに使用された用品すべてが揃っており、かつ使用されたときの状態が保たれていることから、伝承が危うくなりつつある現在、その実態を知ることができる貴重な資料である。

徳島市国府町芝原字神楽免158 芝原生活文化研究所 阿波木偶箱廻しを復活する会



県内8番目の国史跡 「渋野丸山古墳」

平成21年2月12日に、渋野丸山古墳が県内で8番目の国史跡に指定されました。渋野丸山古墳は、徳島市の南部に位置する県下最大の前方後円墳で、5世紀の前半に築造されています。発掘調査の結果、墳丘は全長105m、周濠を含めた総延長は118mであることがわかっています。周濠や造出を備える前方後円墳は阿波で唯一であり、畿内の大型古墳と共通する特徴を持つことから、当時の阿波と畿内の関係を考える上で極めて重要な文化遺産といえます。



渋野丸山古墳

医療法人 健み会

城西ビオスクリニック

[心療内科・神経内科・内科]

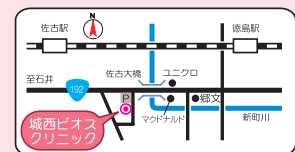
◎基本予約制 Tel: 088-611-1160

徳島市佐古一番町5-2(佐古大橋西詰) 駐車場20台

診療時間 9:00~12:00 14:00~18:00

休診日 木曜・日曜・祝日

ホームページ <http://www.j-bios.jp/>



心が疲れたと思ったら
気軽にお越しください。



2階レストランビオス(マクロバイオティク食)
では肉・魚・卵・白砂糖を一切使用しておりません。
レストラン直通 Tel: 088-656-6316

教育の現場で、ストレス、うつ病、心身症かな…と悩みながら、がんばりすぎていませんか? 当院では心の健康について幅広く診療を行っております。心の病もより早く治療することにより、より良く治ります。お気軽にご相談ください。

広告